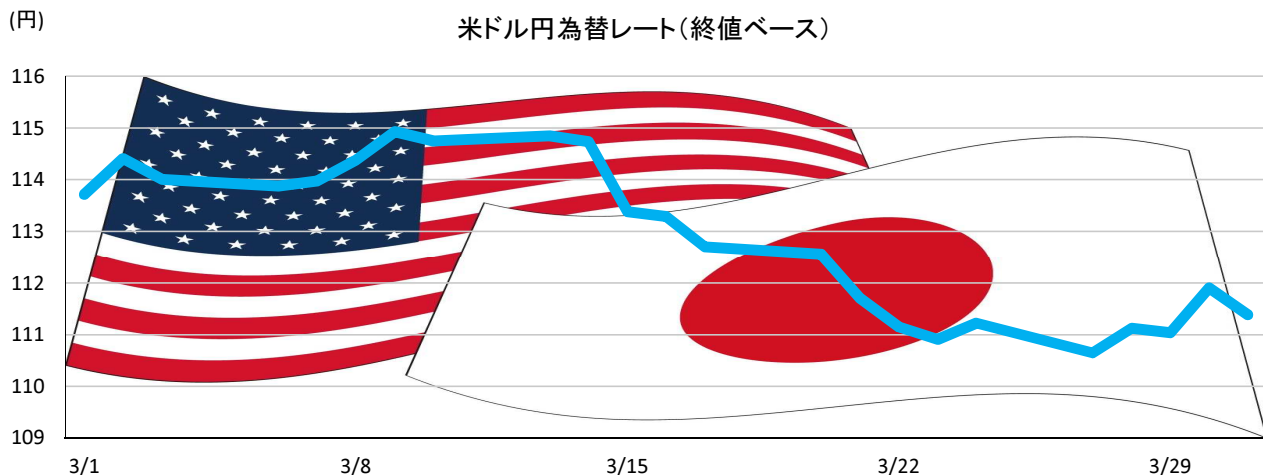


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 3月のドル円相場は、115円半ば～110円半ばで推移。米国の利上げ期待感と、それを後押しするように雇用情勢が良好ということもあり、ドル先高観の流れが続いていた。実際に10日に発表された米雇用統計の数値も良好だったことで、115円台までドル高が進行した。その後はFOMCを控えて一進一退の動きが続いていたが、FOMC後に利上げペースが早まるのではと期待していたが、実際に利上げ発表となったものの、利上げペースが速まらないことを失望したドル売りの流れに巻き込まれることとなった。さらにトランプ大統領への期待感からのリスク選好ムードもオバマケア代替案をめぐるゴタゴタ等もあり、リスク回避の動きに拍車がかかることとなった。



EXTRA VISION

今後の展開: 米国利上げ期待感が高まり続いていた中、利上げ決定となったものの、一転ドル売りとなった。まさに先月にも少し触れた、うわさで買って事実で売る、ということを見せられた感じだ。これは市場が過度な期待感を持ちすぎただけともいえ、2月後半からのドル円上昇分を丸々吐き出す動きとなったことから見受けられた。今後は利上げ問題とともに、トランプ大統領が為替操作国について処罰しようとしていることにも気をつけたい。中国が念頭にあると思われるが、日本やドイツの貿易赤字について良く思っていないこともあり、何らかの発言があるかもしれない。また少し先になるが、日本がGW中にFOMCと米雇用統計があるため、ポジションの取り方についてははっきりと考えておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 25 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
4 / 27 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
4 / 27 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
4 / 28 (金)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 4 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 12 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。